

第 66 回 原子力安全専門委員会定例会（議事概要）

日 時：令和 3 年 3 月 19 日（金）12：00～12：30

場 所：美浜発電所構内*

出席委員：鞍谷委員長、三島委員、田島委員、泉委員、大堀委員、近藤委員

*美浜発電所の現場確認に合わせて開催

議 題：

- (1) 原子力発電所周辺の環境放射能調査について
 - ・令和 2 年度 第 3 四半期（令和 2 年 10 月～12 月）報告
 - ・令和 3 年度 計画
- (2) 発電所の運転および廃止措置状況について
 - ・令和 3 年 1 月～ 3 月分報告

概 要：

- 原子力発電所周辺の環境放射能調査の結果、発電所の運転および廃止措置状況について、事務局より説明
- 資料については、次回の原子力環境安全管理協議会の場で配付予定

（原子力発電所周辺の環境放射能調査）

令和 2 年度 第 3 四半期

- ・ 県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ・ 浮遊じん放射能の連続測定の結果、いずれも天然放射能のレベルであった。
- ・ 一部の試料から過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられるセシウム 137 が検出されたが、環境安全上問題となるレベルに比べ、はるかに低い濃度であった。
- ・ 一部の試料から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった。

令和 3 年度 計画

- ・ 平成 30 年度に改定されたモニタリングに係る国の指針に基づき、発電所からの距離および方位ならびに近傍の線量率測定地点の有無を考慮して積算線量測定地点を再配置した。加えて、ストロンチウム分析については、陸水、無脊椎動物、海藻類の試料を追加した。

（発電所の運転および廃止措置状況（令和 3 年 1 月～ 3 月））

- ・ 今期間の運転状況は、計画外の原子炉停止や出力抑制はなかった。大飯 4 号機の定期検査が 2 月に終了し、高浜 3 号機が今月、原子炉を起動している。現在、県内発電所 7 基が定期検査中となっている。
- ・ 当該期間において、安全協定に基づき報告された異常事象はなかったが、過去に発生した 2 件の原因と対策が報告された。

<主な質疑>

Q.

3 月 4 日の専門委員会でも説明のあった高浜 4 号機、大飯 3 号機についての再発防止策の実施状況や今後の工程はどのようになっているのか。

A.

高浜 3 号機は蒸気発生器伝熱管の施栓が完了しており、薬品洗浄の効果も確認できたことから、3 月 7 日に原子炉を起動した。4 号機については、3 月 8 日に施栓が完了し、今後蒸気発生器の薬品洗浄を実施する予定である。大飯 3 号機については、規制庁による設工認の審査が続いており、認可後に工場で配管を作製した上で現場工事となる予定。

以上